

●平成28年度第1回放送番組審議会

■開催日時

平成28年8月25日(木)
12:00 ~ 14:00

■開催場所

秋田ケーブルテレビ会議室

■出席委員(8名)

放送番組審議会議長
放送番組審議委員

阿部 時男
石倉 敏明
伊藤 啓子
加藤 卓哉
北澤 孝助
景山 陽一
大森 慎也
(順不同・敬称略)

■事務局出席者

代表取締役社長
取締役副社長
メディアクリエイト部 部長
メディアクリエイト部 担当課長
TEAM CNA CREATION
管理部 部長
管理部管理課 課長代理

松浦 隆一
末廣 健二
斉藤 洋樹
三浦 明之
中里 仁
佐藤 直子
伊藤 慶子

■議事

- ・事務局からの報告事項
- ・自主制作放送番組について

■視聴課題番組

番組名
①ネイチャーウォーク「初夏の鳥海山」
②さきがけ71年前の今日
③Matirogのザ・チャレンジ「世界一になれ！」
④のんびりし〜な 仙北市編②

■放送番組審議委員からのご意見

【①ネイチャーウォーク「初夏の鳥海山」】

- ・バックミュージックについて、山に入っていく感覚と音楽にズレがあるように感じる。音からの印象も重要なので、もっと音楽を考えた方がいい。
- ・番組は6月中旬であり、高山植物もでる時季であるので、植物をもっと映してもよかったのではないだろうか。
- ・登山をしない人でも、登ってみたいと思わせる番組制作になっていたが、初心者が知っておくべき環境面・安全面の注意事項があった方が良かった。
- ・登山中の見どころ位置情報などがあれば、登山にもっと興味をもてると思った。

【②さきがけ71年前の今日】

- ・ケーブルテレビで地域の紙面を扱い、メディア間の相乗作用は多面的な情報を伝えられるのではと深く興味を持つ内容になっていた。
- ・71年前の新聞を画像としてとらえ、当時の方がどういう気持ちで新聞を読まれていたか、番組を通して考えることができる番組だった。
- ・古い紙面なので、加工しているとはいえ、文字がつぶれている部分があったので、キャプチャーがあった方がいい。

【③Matirogのザ・チャレンジ「世界一になれ！」】

- ・内容が別の番組に似ていたため、じゅんさいを採っている方とのコミュニケーションなどを伝えるとローカル的になったのでは。
- ・ケーブルテレビ独特のゆるさ、即興だがストーリー性がある、台本どおりではないゆるさが良いところではないかと思った。
- ・ディレクターズカットを取り入れることによって、もっと面白くなるのでは。

【④のんびりし〜な 仙北市編②】

- ・出身地の違う3人が違う視点で秋田を紹介し、日常的に埋もれている秋田の面白さを引き出してとても良いと感じた。
- ・仙北・田沢湖・角館は奥座敷であり、ディープな文化・民族・濃い人柄を、失礼でない程度に懐に入って人情を出す番組になっていて非常に良い。
- ・番組構成が5回で完結するという点だが、1回づつ見ると番組のターゲット層がわかりづらかった。